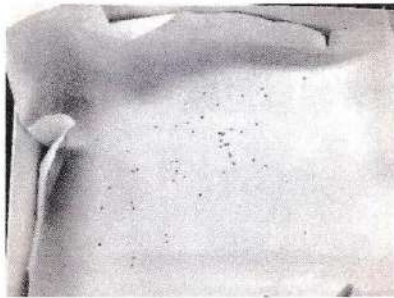


# カイコを育てました

足立区立元宿こども園



R5.5.9

いただいたカイコの卵を見せ、子どもたちとこれからどうするかを話し合い、世話をすることに決めました。カイコの卵を箱に出すと、「これ蚕の卵じゃないよ!」「砂みたい!」と、それぞれが言葉にしていました。昨年の年長組が育てていた、大きくなったカイコのイメージがあったためか、自分たちが思っていたもの違ったようで「これはカイコじゃない!」と主張する子どももいました。「では、これは本当にカイコなのか?観察してみよう」と蚕の卵の観察が始まりました。



R5.5.15

卵の孵化が始まりました。丸い卵の形から、細長いケゴに変化したものがあることに気が付きました。虫眼鏡を置いておくと、それを使って動いている様子を観察していました。

透明な殻を見つけると、「ここから出てきたんだ!」「もしかしたらこれはカイコなのかも!」と、話す子どももいました。

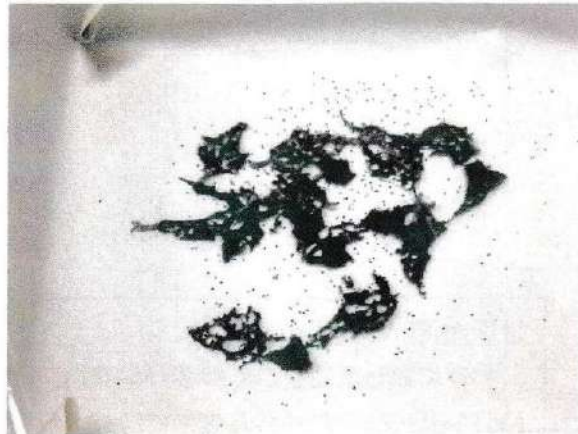
カイコが食べるものを本で調べ、食べやすい大きさにちぎった桑の葉をあげていました。

桑の葉が減らないことを不思議に思い、本当に食べているのかを虫眼鏡で見ると、桑の葉に小さな穴がぽつぽつ空いていることに気が付き「食べてる!!」と発見を喜んでいました



R.5.5.23

黒いケゴが脱皮をして、白い2齢のカイコになってきました。入れている新芽の桑の葉があっという間に穴だらけになるのを見て、自分たちでカイコ当番を決めて、餌の桑の葉を忘れずに入れるように気を付けていました。



R.5.5.25



R.5.5.31



R5.6.1

「また大きくなって！」「あんなにたくさん葉っぱ入れたのに、もうない！」と葉を食べる量に驚いたり、成長を目で見て感じたりしていました。

箱の中にたくさんの糞があることに気が付き、きれいにしあげようと毎日交代で、カイコの箱を掃除したり、餌をとってきてあげたりとこまめに世話をしています。

この頃になると、最初はカイコを気持ち悪いと敬遠していた女兒たちも率先してカイコの世話をするようになりました。



### R5.6.6

大きくなったカイコに愛着が生まれ、「かわいい〜」「もっとたくさん食べてね」と話しかけながら、触ることも楽しみの一つになっていました。

口や目を探しては、虫眼鏡で観察することが楽しんでいました。ただ、目は模様の部分だと思い込んでいるようでした。

カイコが桑の葉を、音を立てて食べる事にも驚いていました。



「背中がドクドクしている！」と背中中の血管のようなものを発見！早速、本を使って調べていました。



### R5.6.7

ある日、力加減がわからず、カイコを強くつまんでしまったことで、蚕の内臓がお尻から出てきてしまったことがありました。

“オシッコが出た”と思っていた子どもたちでしたが、桑の葉を食べなくなったことで、何か異変が起きていることに気が付きました。

担任も生き物の命について知らせたいと考え、クラスの子どもたちに、「カイコもみんなと同じ命がある」こと、「葉を食べて大きくなろうと頑張っている」ことを伝えました。

それからは、優しく扱う姿が見られ「今ご飯食べているから、抱っこしないほうがいいよ」「撫でてあげると喜ぶかも」とカイコに対する優しい気持が感じられるようになりました。

### R.5.6.9

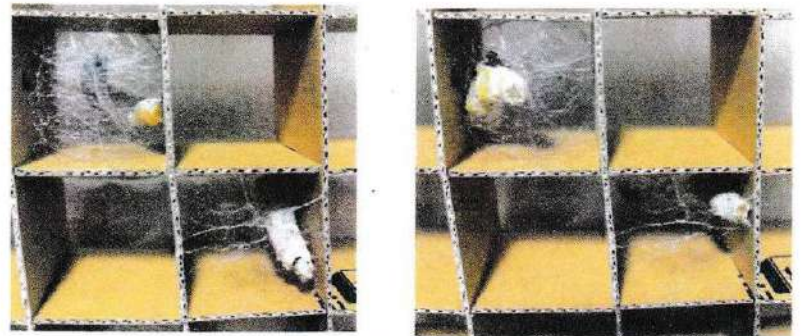
カイコが桑の葉を食べるスピードが早くなり、1日2回のエサやりが間に合わなくなってきました。枝ごと入れても大丈夫なことを知らせると、大人に切ってもらった桑の葉を枝ごと入れるようになりました。

また、自分の指とカイコの大きさと比べて大きくなったことを感じていました。



### R.5.6.12

何匹かの蚕の色が黄色っぽく変化してきました。繭をつくれるよう、段ボールで仕切りをつくとどんどん登って、気に入った場所で繭作りが始まりました。



「中が透けて見える！蚕が動いている！」と、作り始めの繭はまだ糸の壁が薄いため、中の様子を観察することもできました。



### R.5.6.16

繭を振って”カラカラ”と音がすることを確認すると、潰さないようそっと、段ボールから外しました。「こんなにきれいな形にできるんだね」「蚕が自分の糸でつくってたよね」と、繭を見て友達と話す姿がありました。

蚕の世を通して、桑の葉を食べる姿、食べることでフンをし、体も大きく成長していく様子を間近で見ることができました。その中で、自分たちが世話をしないと蚕は餌を食べられないこと、入れ物が汚れている中ではかわいそうといった気持ちも生まれ、欠かさず世話をする姿が見られるようになりました。また、蚕との出会いは生き物の命についても考えるきっかけとなりました。